

《卒業アルバム（プロジェクト「修復のモニュメント」より）》

…作者は、有志のひきこもり当事者たちと対話し、それぞれにとっての、ひきこもった事情にまつわる造形物を作り、それを二人で、あえて一旦ハンマーで壊し、そして「金継ぎ修復」を施した。

2019年、制作：渡辺 篤+Tさん、撮影：井上桂佑

形式・素材：インスタレーション（コンクリートに金継ぎ、映像、原稿用紙）

# ひきこもりや様々な生きづらさを抱えている方へ わたしらしく生きる ～現代美術家の生き方に学ぶ～

ひきこもり経験のある講師による  
「生きづらさ」×「わたしらしさ」  
を考えるトークイベント

参加費  
**無料**

2025年

**10**月**30**日(木)

**14:30～16:30** (14:15 受付開始)

**会場**

大久保地域センター 4階  
多目的ホール（新宿区大久保2-12-7）

**対象**

ひきこもり等の状態にある方、  
生きづらさを抱える方

定員 **30**名程度

**内容**

14:30～15:30 渡辺 篤さん トークライブ  
15:30～16:00 質疑応答  
16:00～16:30 個別質問

(渡辺さんから様々な作品にアドバイスをいただけます。希望者はご持参ください)

**講師**

渡辺 篤さん (現代美術家・社会活動家)

新宿区内の美大受験予備校を経て、東京藝術大学へ入学。絵画や現代アートを学ぶ。大学院修了後に足かけ3年の深刻なひきこもりを経験。回復後から精力的に活動が続ける。「アイムヒア プロジェクト」を主宰し、孤独・孤立を抱える人々と協働企画を多数実施。当事者運動やケア実践、メディア出演、講演等多数。2020年「横浜文化賞 文化・芸術奨励賞」。主な展覧会は、「Disruptive Landscapes」クライストチャーチ・アートギャラリー（2025、ニュージーランド）、「あ、共感とかじゃなくて。」東京都現代美術館（2023）、個展「私はフリーハグが嫌い」国立新美術館（2023）、国際芸術祭「あいち2022」、「瀬戸内国際芸術祭2022」。



撮影：井上桂佑

## お申込み・お問い合わせ

申込期間

**10月17日(金)～10月29日(水)**

(公財)新宿区勤労者・仕事支援センター  
若年者就労支援室「あんだんて」(新宿区新宿7-3-29)

☎ **03-3200-3311**

平日 8:30～17:00 (年末年始・祝日等除く)

■申込フォームURL

<https://www.andante-shinjuku.net/1030watashirashiku>

■申込フォーム二次元コード



■災害等やむを得ない事情によって、中止や延期になることがあります。中止・延期の際は新宿区、(公財)新宿区勤労者・仕事支援センター、しんじゅく若者サポートステーションホームページ等でお知らせします。 ■個人情報取扱い：ご提供いただいた個人情報は、本イベントの受付・連絡業務のみで利用いたします。また、法令に定める場合を除き、個人情報を第三者に提供することはありません。

共催：新宿区／(公財)新宿区勤労者・仕事支援センター／しんじゅく若者サポートステーション